



衆議院議員
森田としかず ニュースレター

MORIMORIPRESS

October
10
2021 10月号

TEL.048-530-6001

www.morita-toshikazu.com

森田としかず事務所 (通称:モリモリオフィス)
〒360-0831 熊谷市久保島1003-2
平日 9:00~17:00 (土・日・祝日はお休み)
FAX.048-530-6002

国会事務所
〒100-8982 東京都千代田区永田町2-1-2
衆議院第二議員会館1003号室
TEL.03-3508-7419 FAX.03-3508-3899

Eメール mmo@morita-toshikazu.com

mori_morita

森田俊和

森田としかず

検索



コロナ禍の早期収束と教育の拡充で 日本の未来を切り拓く!

コロナ禍を一日も早く収束させ、日常生活を取り戻すことが政治の最優先課題です。新型コロナウイルスそのものへ機動的な対応をすること、そしてコロナ禍による家計や経済への負の影響をいかに抑えるかという両面について、厳しい現実を直視し、思い切った行動を取るべきです。

また、コロナ禍で、日本の課題が浮き彫りになりました。輸入に依存した経済構造、ワクチンの研究開発の遅れ、IT環境の未整備等々。

また、以前から指摘されているように、少子化、過疎化、経済の減退等の現状を、いかに改善できるかということも並行して取り組むべき課題です。これらの課題に対応するためには、人づくりが欠かせません。主体的に行動し、将来を担う若い世代を育てるべく、教育を見直し、未来への投資を増やし、「今よりも、もっと幸せな日本」を創っていきましょう!

衆議院議員 **森田俊和**

コロナ禍の早期収束を目指します!

▶ 治療法の早期確立

ワクチン接種を引き続き進めることに加え、治療薬(新薬、既存薬の転用)の承認、流通をできるだけ早く進めることが急務です。遠くない将来、新型コロナウイルスを季節性インフルエンザと同じ扱いができるようになるため、果敢に取り組むべきです。



▶ 十分な仮設療養施設・病院の確保

自宅療養で亡くなる方を出さぬよう、軽症者向けの仮設療養施設を十分に確保することが必要です。また、中等症、重症の方については、コロナ以外の患者さんの診察や治療をできる限り妨げないように、プレハブや大型の公的施設を活用した仮設の病院を立ち上げ、治療に当たれるようにすべきです。



教育の拡充で 未来の日本を創ります!

▶ 国の基本は教育にあり!

50年後、100年後を創るのは、今を生きる私たちと、後に続く世代の人たちです。渋沢栄一翁が『論語と算盤』で、「論語」を先に出したのは、経済優先だと国が傾くと考えたからです。未来を託せる人材を育てるのは私たちの責任です。私たちの身の回りのあらゆることは、私たちが動かないと良くなりません。主体的に、意欲を持って行動できる人材を育てていきましょう!

▶ 人格を育む教育を!

教育基本法は、教育の目的は「人格の完成」であると言っています。自ら目的をもって学び、行動できる人材を世に送り出すために、特に幼少期~義務教育では、学ぶ目的や楽しさを体験として身に付けることが求められます。一人ひとりの能力や特性に応じた教育を行うために、教育委員会や校長の判断で教育内容や教職員の配置を組み立てられるようにすることも必要です。明るい未来を語り、行動できる人材を育てましょう!



▶ 事業者・生活に困っている方への支援

コロナ禍の収束に至るまでにはまだしばらく時間がかかります。その間、多くの事業者の方が自粛等の影響を受け、またそこで働く方は減収、あるいは失業で大きな困難を抱えていらっしゃると思います。税務申告に使っている情報等を活用し、企業の規模や、世帯収入に見合った形で支援を行うことが必要です。



▶ 世界をリードする人材を!

今回のコロナ禍では日本の研究開発力の弱さが指摘されました。と言っても、今予算を付ければすぐに何かが開発できるという程簡単なものではありません。これから時間をかけて基礎研究から製品開発まで、あらゆる分野の人材がお互いに切磋琢磨できる環境を整える必要があります。自ら課題を設定し、目標に向かって努力を積み重ねる人材を育て、また、そういう人材が手間暇かけて研究に打ち込めるよう、思い切った予算を付けるべきです。世界の知的拠点であるために、長期的に取り組むべきと考えます。



皆様のお声を国政へ! 4年間の任期中

国会にて計68回登壇!

これまで任期の通算で本会議、委員会にて計68回登壇しました(本会議4回、委員会64回)。徹底した草の根主義、地域を歩き、皆様から伺ったご意見、ご要望を、総理はじめ、各大臣との議論を通じ、政府にお伝えしてきました。コロナ対策や子育て、教育、働き方改革、農業、商工業など、地域のあらゆるお声を国政にお伝えすることが最も大切な議員としての使命であると思っています。これからも、皆様のお声を国政に伝えてまいります!

なお、質問の様子は下記、衆議院のホームページからご覧いただけます。

<http://www.shugiintv.go.jp/jp/index.php>



平成30年11月 内閣委員会



平成30年3月 国土交通委員会

平成30年5月 内閣委員会

令和元年4月 内閣委員会

令和元年5月 内閣委員会

令和元年11月 財務金融委員会

令和2年5月 財務金融委員会

令和2年6月 内閣委員会

令和2年11月 内閣委員会

令和3年2月 内閣委員会

埼玉12区(熊谷・行田・羽生・加須・川里)の動き

国の基本は地域です。地域が充実発展することで、国全体も充実発展していきます。地域を歩き、地域を知る。これからも皆様の元へお邪魔します!

熊谷 ステイホームの花火大会開催! (熊谷市内各所)

企業協賛と一般の方からのクラウドファンディングによって、5か所に分散しての花火大会が開催され、多くの方を魅了しました!



スポーツホテル、 サイクルステーション&カフェ始動!

パナソニック・ワイルドナイツが拠点を移すのに合わせ、一般の方も泊まれるスポーツホテル、駅とラグビー場を快適に行き来できるレンタサイクルの拠点がオープンしました!



オリンピック・ パラリンピックの聖火をつなぐ

オリンピックの聖火は7月7日に加須市、行田市、熊谷市でリレーが行われ、パラリンピックでは、羽生市にて採火式が行われました。



熊谷 くまがやエコライフ フェア開催! (八木橋)



毎年恒例のフェア、環境団体や企業が出展し、環境を良くするための取り組みや商品などが展示されました!

熊谷 ニャオざねまつり開催! (熊谷市役所)



市民活動団体の活動PRのための恒例イベント。コロナ禍のため、今年は市役所ロビーにて展示が行われました!

行田 行田中央総合病院に慰労金! (行田市富士見町)



新型コロナウイルスと闘う病院スタッフの皆様を応援しようと、クラウドファンディングで慰労金500万円が集まり、病院に贈られました。

羽生 「女と男のフォーラム」開催! (羽生市市民プラザ)



埼玉純真短期大学の藤田利久学長によって「学生から見た男女共同参画」をテーマに講演会が開催されました。

羽生 羽生市消防本部、知事表彰! (羽生市消防本部)



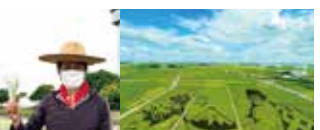
救急医療功労者として、羽生市消防本部が知事表彰を受けました!平均搬送時間の短縮などが評価されました。

熊谷 「根岸友山・武香研究会」 講演会開催! (大里コミュニティセンター)



「根岸友山・武香顕彰会」がコロナ禍の影響で活動が困難となり解散。新たに研究会が設立され、講演会が開かれました。

行田 今年は和の「田んぼアート」! (古代蓮の里)



今年は浮世絵をモチーフにした田んぼアートが描かれました!コロナ禍でしたが、田植えから参加させていただきました!

川里 津軽三味線の演奏会開催! (花久の里)



山中信人さんの津軽三味線演奏会が開催されました。客席を通常の半分に絞っての2回公演、多くの方が勇壮な音色に魅了されました。

加須 玉敷神社にて神楽奉納 (加須市騎西)



400年以上の歴史と伝統を誇り、国の重要無形文化財に指定されている玉敷神社の神楽が今年も厳かに奉納されました。

加須 手作り灯籠の展示 (会席ぎやらりい「からん」)



皆さんが手作りした灯籠が店内に飾られました。様々なイラストや文字、木組みや布地など、趣向をこらした作品が目を楽しませてくれます!

加須 「加須の舞」金賞受賞! (釜屋)



昨年の英国での金賞受賞に続き、フランスの日本酒コンクール「クラマスタ-2021」で地元産酒米を使った「加須の舞」が金賞を受賞しました!



オンライン座談会開催!

「コロナ禍で政治に期待すること」

10月17日(日) 16:00~ZOOMにて
事前に右下のQRコードからお申し込みをお願いします



ワクチン接種の進め方やコロナ禍での生活支援、学校や保育園などでの課題など、ご意見、ご要望をお聞かせください!コロナ以外のことであっても、どしどしご意見お待ちしております!



皆様と共に 汗をかく…!

地域の皆様のお声を聴くことが大切だと思っています。皆様と一緒に作業する中で、皆様の本音が聴けることがあります。そうして聴いた諸々のことを政策に生かし、皆様の代弁者として国政にお声を伝えてまいります!



森田としかずプロフィール

昭和49年9月熊谷市久保島生まれ
広瀬保育園、熊谷市立玉井小・中学校、熊谷高校、早稲田大学政経学部、カナダ・マギル大学留学、早稲田大学大学院博士課程を経て、28歳で県議選初挑戦(23票差で次点)、県議2期を務めた後、平成24年衆議院議員選挙(55,663票で次点)平成26年衆議院議員選挙(57,299票で次点)平成29年衆議院議員選挙(86,007票で初当選)
幼少期……おばあちゃん子として育つ。農協、養蚕連にお世話になった亡き祖父の面影があったのか、農協の支店に行くと、「ミニ組合長」と呼ばれる。保育園年少で、登園拒否を経験。無理に登園するも「おばあちゃんの植木のお手伝いをしないと」と訴え、帰宅。

小・中学校……体育が苦手だが、長距離走に活路を見出す。6年生で運動会の入場行進で校旗を持ったことで、学校行事への貢献に目覚める。中学の生徒会長選挙で落選するも、生徒会役員として文化祭等に関わる。卒業式では昇降口の屋根に登り、サプライズの学年合唱を指揮。
高校・大学……高校では40kmハイクは毎年走る。男声合唱の音楽部ではバリトンに所属。大学のテニスサークルで妻と出会う。長期休暇は海外への貧乏旅行。初めての海外一人旅でホームシックにかかる。国内での自転車旅行、渋谷ハチ公前から歩いて富士山へ登ったことも。
大学院~政治の道へ……大学3年の時に石田教授(義弟が元三重県知事の北川正恭氏)と出会い、そのご縁で大学院へ。予備校講師をしながら博士課程に進むも、カナダ・モントリオールへの留学を経て、学問よりも実践に魅力を感じるようになり、教授の勧めもあって政治の道へ。
県議~国政へ……大学院に籍を置きながら臨んだ県議選初戦に23票差で落選。浪人中に訪問介護事業所を立ち上げる。2度目の挑戦で県議に当選。2期目の途中で辞職。元々望んでいた国政へ挑戦。2度の挑戦は次点、3度目も次点だったが492票差で比例の議席をいただく。
【現在】立憲民主党 衆議院議員
介護施設「上川原んち」代表
【趣味】幼少期の高崎線沿いかメラ小僧~鉄道旅

行~海外旅行。留学時、日本のことを語れなかったショックから茶道のお稽古を始める。施設の行事ではものまねを披露。小学生から演歌カラオケ。
【日課】1日8000歩以上を目標に日常の中での歩き、または自転車。毎朝の洗濯、ゴミ分別~集積所へ、キッチン・洗面所の排水溝掃除、お風呂の鏡・壁面の拭き上げ。毎週1時間の「幸せ研修」に参加。
【家族】妻・3人娘・ネコ2匹(チャコ♀・クルミ♀)

